

しょう

も

ひと

障がいを持つ人が

さいがい

そな

災害に備えるための

ハンドブック



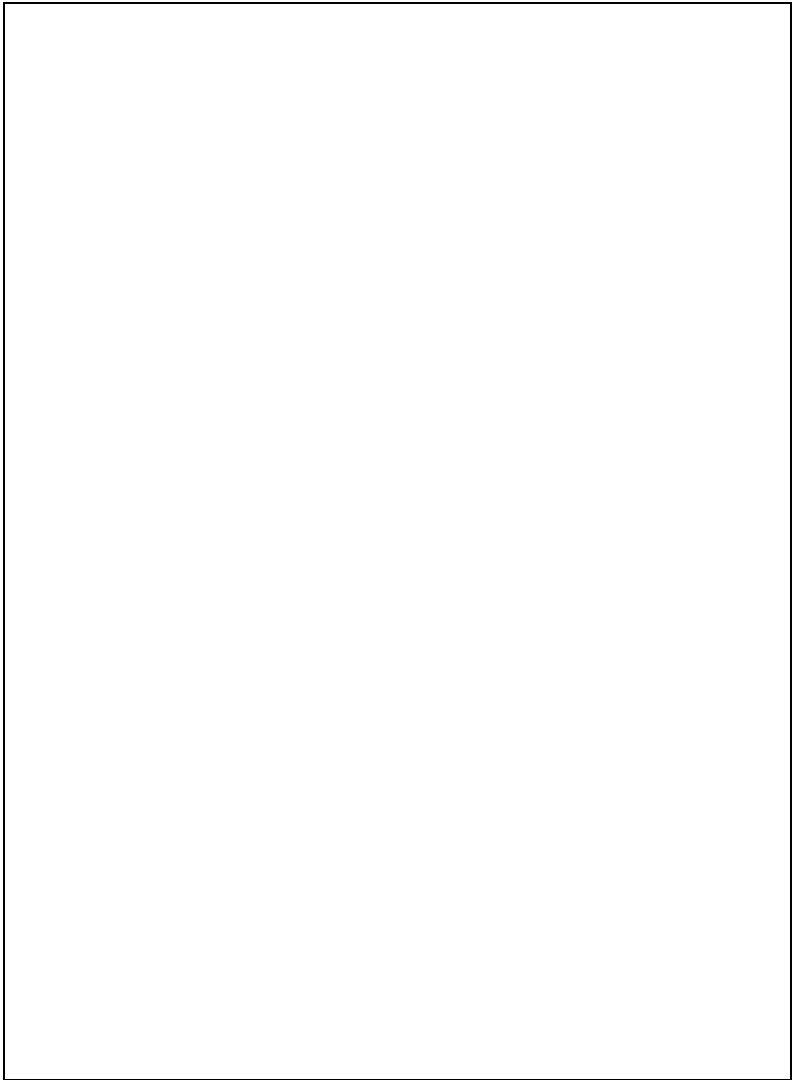
えぬびーおーほうじん

せいかつしえん かい

N P O 法人しょうがい生活支援の会すみか

メモ

---



## はじめに

わたし しゃかいてきじゃくしゃ あんしん あんぜん す  
私たちは、『社会的弱者も安心・安全に住むための  
まちづくり』をテーマに、障がいを持つ人の視点か  
ら、災害時要援護者の防災についての調査を行ってき  
ました。そのまとめとして、このハンドブックを作成  
しました。

ぼうさい かんが とき しょう うむ すべ  
防災を考えた時、障がいの有無にかかわらず全て  
ひと だいじ  
の人にとって大事なことは、まちのどこにどのような  
ひと す  
人が住んでいるのか、お互いに知っておくことです。  
このことが、いざという時にお互いの安全を確かめ、  
きゅうしゅつかつどう おこな きそ  
救出活動を行う基礎となります。

ぼうさい もよお ちいき さまざま  
そのためには、防災の催しのみならず、地域の様々  
なイベントなどで普段から交流しお互いのことを  
し たいせつ  
知っていくことが大切です。また、そうした場所で、  
しょう ひと とも  
障がいのある人と共にボランティアサークルや  
えぬびーおー ひとたち し あ ちいき あたら すがた  
NPOなどの人達と知り合うと、地域の新しい姿が  
み ひごる  
見えてくるでしょう。そうすると、日頃からまちの  
かんきょう たと てんじ じょう じてんしゃ と  
環境（例えば、点字ブロック上に自転車が止めてあ

ほどう き  
る歩道など)が気になるようになるかもしれません。  
にちじょう き へ ぼうさいくんれん さい  
そうした日常の気づきを経て、防災訓練などの際に  
ぐたいてき さいがいじ ひなんばしょ つか  
はさらに具体的に、災害時の避難場所の使いやすさや、  
ひなんろ あんぜんせい やくば ちいきない れんらく ほうほう  
避難路の安全性、役場や地域内での連絡の方法などに  
かくにん  
ついて確認することになります。

だいさいがい いちど あ しみん ぼうさい いしき  
「大災害に一度は遭わないと、市民に防災の意識は  
め ば  
芽生えない」

こんかいはなし うかが ひさいしゃ かた はっ  
今回話をお伺したある被災者の方から発せられ  
しょうげきてき ことば  
た、衝撃的な言葉でした。

だからといって備えることが無駄というわけでは  
ありません。いつ来るかわからない災害に備えるので  
く わ さいがい そな  
はなく、日常の何気ない近所づきあいや友人との  
にちじょう なにげ きんじょ ゆうじん  
つな たいせつ ひと やさ  
繋がりを大切にし、バリアフリーで人に優しい  
たてもん おこな とき やく  
建物づくりなどを行うことが、いざという時に役に  
た  
立つのです。

さいがい つよ  
災害に強いまちにするために、そこ  
すひとたち たが しあ  
に住む人達みんなが互いに知り合い、  
たす あ ひごろ く  
助け合い、日頃から暮らしやすいまち  
めざ  
を目指しましょう！



ねん がつ  
2010年3月

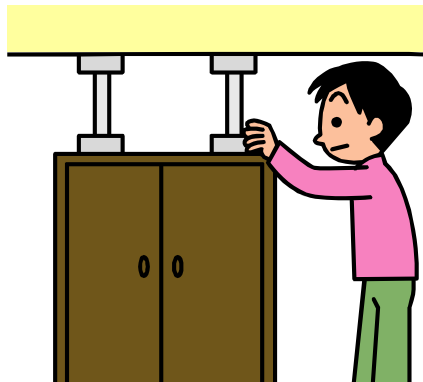
## もし災害が起こったら

たとえば、あなたは自宅で朝食の支度中、突然震度7の地震に遭遇したとします。その時、あなたならどうしますか？

### 1. 地震発生—自分の命を守る

揺れを感じたら、まずは自分の身の安全を確保します。強度のあるテーブルなどの下に入り、頭と目を守るのが重要です。慌てて家から飛び出そうとするのは危険なのでやめましょう。

ただし、建物が倒壊してしまうとテーブルがつぶれる可能性があるので、事前に耐震診断を受けましょう。また、家具をしっかりと壁に固定しておくことも大切です。



## 2. 震災直後一まずは屋外に出るまで

屋内でも散乱したガラスの破片で怪我をする恐れがあるため、スリッパを履くなど足の裏を守る対策が必要です。

また、非難する前には電気のブレーカーを落とし、ガスも屋外の大元の栓を閉めるようにします。特に停電している場合は、これらの備えによって復旧し際に引火してしまう通電火災を防止します。

震災により家が傾いたり、車イスが壊れて動くことができないなど、避難が難しい場合があります。二次災害が起こらないよう、救助に行く人の安全を確保しつつ、近くの人と協力して対処することが肝心です。

必要な薬や生活を助ける補装具も、可能な状況であれば持ち出しましょう。

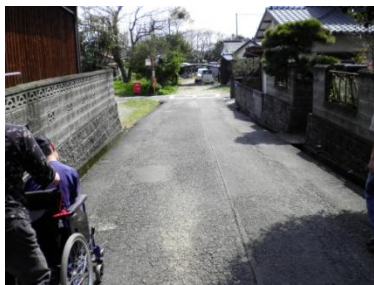
## 3. 安否確認

家族が別の場所で被災した場合、あるいは友人が

ぶ じ かくにん みな いっせい  
無事かどうかの確認するでしょう。しかし、皆が一斉  
おな はじ でんわ つな  
に同じことを始めるために、電話は繋がらなくなる  
かのうせい とき さいがいようでんごん  
可能性があります。そんな時は災害用伝言ダイヤル  
りょう  
(171) を利用したり、インターネットからブログ  
や Twitter を活用するのが効果的です。また、家族と  
れんらくほうほう しゅうごうばしょ ひごろ はな あ  
は連絡方法や集合場所について日頃から話し合っ  
ておくことも大事でしょう。

#### ひなんじょ みち 4. 避難所への道のり

ひごろ とお な みち たてもの どうかい みち  
日頃は通り慣れた道でも、建物が倒壊していたり道  
かんぼつ りゅうき ひなん むずか  
が陥没・隆起していたりすることで、避難が難しい  
ばあい ちか ひと きょうりょく  
場合もあります。近くの人と協力しましょう。



しゃしん じたく ひなんじょ  
< 写真：自宅から避難所まで  
ひなんたいけん じっさい しら たいせつ  
を避難体験> 実際に調べておくことも大切です。

被災した利用者の中に車での移動が必要な方が  
 いて、その時は迎えに行くために軽自動車を10人で  
 持ち上げて道の陥没を越えたりしました。  
 (新潟県中越沖地震の体験者・談)

## 5. 避難所生活

狭い中で大勢の人が過ごしたり、冷暖房の空調や  
 トイレなど、障がいがあなくても過酷な環境になりま  
 す。日頃から地域の方と交流を活発にすることで、  
 その人の障がいを周囲が理解する手助けになるし、  
 避難所でも無用なトラブルを防ぎます。また、受付な  
 どにいるその避難所の世話役の人には、障がいの  
 状態をきちんと説明し理解してもらうことが必要で  
 す。

下水がある場合は最初から仮設トイレ設置用の  
 マンホールを作っておくなど、避難所になる場所に  
 は必要な準備を整えておくと、いざという時に大い  
 に役に立ちます。(阪神・淡路大震災の体験者・談)



ふくしひなんじょ ひつよう かんきょう へんか たいおう  
福祉避難所も必要ですが、環境の変化に対応で  
しょう おもち かた おお ひごろかよ  
きなない障がいをお持ちの方も多いため、日頃通  
な きぎょうじょ ふくし  
慣れた作業所やデイサービスセンターなどの福祉  
しせつ きのう にな  
施設もその機能を担うべきです。  
にいがたけんちゅうえつおきじしん たいけんしゃ だん  
(新潟県中越沖地震の体験者・談)

## かせつじゅうたく 6. 仮設住宅

ほうれいじょう かせつじゅうたく かいぞうきんし  
法令上は仮設住宅は改造禁止です。しかし、ス  
ロープをつけるなど生活のために改装が必要な場合、ま  
そうだん  
ずは相談してみましよう。

にゅうきょ とき ひごろちか す ひと  
入居する時はできるだけ日頃近くに住んでいる人  
あつ はいりよ ほう むよう けいげん  
が集まれるよう配慮した方が、無用なストレスを軽減  
することもできます。

## ふっこう 7. 復興

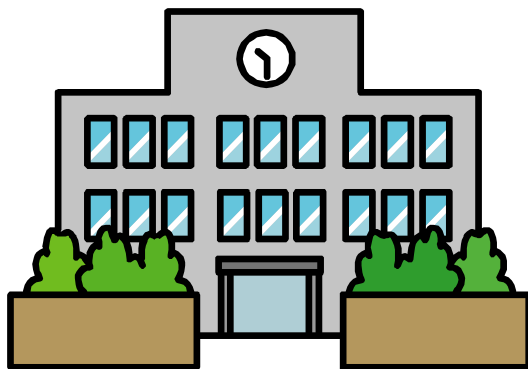
じゅうたく おお ひがい う ばあい もと いえ  
住宅が大きな被害を受けてしまった場合、元の家  
もど ひ こ ばあい  
には戻ることができず引っ越してしまう場合もあり  
ます。しかし、あらす  
新たに住みやすいまちにしていけるよ

さいがい つよ いえ あたら た いえ  
う、災害に強い家をデザインして新しく建てる家に  
とういつかん も くふうしだい ふっかつ  
統一感を持たせるなど、工夫次第でまちが復活するで  
しょう。

いえ す ひ こ  
それまでの家で住むことができずに引っ越すこ  
とおお せいかつかんきょう へんか お  
とになると、大きな生活環境の変化が起こってし  
うつびょう はっしょう ひと  
まい、鬱病を発症してしまう人がいました。  
にいがたけんちゅうえつじ しん たいけんしゃ だん  
(新潟県中越地震の体験者・談)

じしん そうぐう ばあい かんが  
ここでは地震に遭遇した場合を考えてみましたが、  
たいふう ごうう たつまき しぜんさいがい  
台風や豪雨、竜巻などの自然災害もあります。いろん  
ばあい そうてい かんが とぎ  
な場合を想定して考えてみるのが、いざという時に  
やく た  
役に立つでしょう。

## 避難場所



# 障がいへの理解 ～防災の観点から～

それぞれの障がい別に困ることや必要な支援には  
特徴があります。あくまで一般論ではありますが、  
該当する箇所を参考にしながら、一人ひとりに  
合わせた配慮を心がけて下さい。

## 1. 視覚障がい

### a) 災害時に困ること

- ・周囲の状況を見られないので、危険に気づくことが難しい場合があります。
- ・普段それまで通りなれた道でも、路面が壊れたり、倒れたブロック塀などで通路が塞がれたりすると、ひとりでは歩けなくなります。火災が起こると特に危険です。
- ・避難所の文字、案内表示、掲示板など文字で書かれた情報を読むことができません。

ほんにん そな たいしよ  
b) 本人の備え・対処

- ・ラジオや携帯電話、予備の電池、点字器などを  
もちだせるようにしておきます。
- ・地震後、手で周囲を探る時に割れたガラスなどで手  
をけがさないよう、軍手も枕元に用意すると良い  
でしょう。
- ・盲導犬のいる方は、ドッグフードを多めに買い置き  
しておきます。
- ・避難所などの受付では、見えない／見えにくいこと  
をつた  
を伝えましょう。

しゅうい しえん りゅういてん  
c) 周囲の支援・留意点

- ・人が傍らにいること自体が分からないので、周りの  
人から声をかけましょう。
- ・誘導する時は、強引に腕を引っ張らず自分の肘や肩  
などに手をかけてもらい、階段や段差に注意します。

ちょうかくしょう  
2. 聴覚障がい

さいがいじ こま  
a) 災害時に困ること

- ・サイレンや広報車、声による呼びかけが聞こえない

- ので、緊急事態に気づくことが遅れがちです。
- ・言語にも障がいがあると、倒壊した家屋などに閉じ込められても、声で助けを呼べません。また、助けを呼びたくても周りに人がいるかいないか音の気配に気づけません。
  - ・避難所でも、館内放送などが聞こえません。停電で暗くなってしまうと手話も筆談もできないので、コミュニケーションが難しくなります。

## b) 本人の備え・対処

- ・音声以外の方法、例えばFAXや携帯電話メールなどで、災害情報を入手したり連絡を取り合ったりできるようにしておきます。
- ・笛や警報ブザー、補聴器などを、寝ている時も近くに置いておきます。
- ・補聴器の電池、筆記用具、懐中電灯などを持って逃げられるよう用意しておきます。
- ・ラジオや防災無線の放送を伝えてもらえるよう、隣近所との付き合いも大切です。
- ・避難所などの受付では、耳が聞こえない／聞こえにくいことを伝えましょう。

- ・聞こえないことを示す「耳のシンボルマーク」を活用（例：館内放送の内容を書いて下さい）を、カードなどに書いておく役立って下さい。
- ・携帯電話のメールにも、安否情報を登録・確認できるサービスがあります。

### c) 周囲の支援・留意点

- ・聴覚に障がいを持つ方は見た目に分かりにくく、話しかけても返事がない場合があります。肩をたたくなどして知らせ、顔を向き合い確認しながらコミュニケーションを図りましょう。
- ・手話ができなくても、筆談や、身振り手振りで伝えられることもあります。
- ・避難所などでは、放送される広報内容を掲示板などにも書くようにしましょう。

## 3. 肢体障がい

### a) 災害時に困ること

- ・車イスや杖などが、地震によって壊れる場合があ

ります。

- 家具の転倒などによって、家や部屋から出られなくなる  
ことがあります。

- 火事が起きた時、消火や非難をすることが容易では  
ありません。

- 普段通れた道でも、地震による路面の亀裂や段差、  
塀や自動販売機の倒壊・転倒、水害時の浸水などに  
よって通れなくなることがあります。

## b) 本人の備え・対処

- 車イス以外でも移動できる人は、杖なども身近に  
置いておくと良いでしょう。また、自分で移動が  
困難になった場合のために、幅の広い紐（おんぶひ  
も）も用意しておきます。

- 携帯トイレ、紙おむつなどを、非常持ち出し品に  
入れておきます。

- 転倒・落下しそうな危険物の少ない、なるべく安全  
な避難経路を、あらかじめ調べておきましょう。

## c) 周囲の支援・留意点

- 逃げ遅れた人がいないか、気をつけましょう。

- ・避難所では、車イスで移動できる通路を確保し、できるだけ段差は作らないようにしましょう。
- ・トイレは洋式が必要です。

#### 4. 内部障がい

##### a) 災害時に困ること

- ・急な環境の変化、激しい身体の運動によって、健康状態が悪化する場合があります。
- ・避難している期間も、継続的な医療や健康管理が必要です。
- ・医療サービスだけではなく、水や電気などのライフライン、薬などの物流の遮絶が、健康状態へ大きく影響を与えます。

##### b) 本人の備え・対処

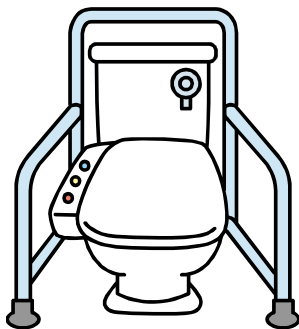
- ・いつも服用している薬や器具（例：呼吸器機能障がいの人には人工呼吸器の非常用外部バッテリー、予備の酸素ボンベなど。ぼうこう・直腸機能障がいの人にはストマ用装具など。）を非常持ち出し品とします。



- ・薬や器具の品名・サイズなどを正確に記した防災手帳を、非常持ち出し品に入れておきましょう。
- ・疾患や合併症、治療のスケジュール、食事の目安などの他、「こうなった場合は、このような治療や介護が必要」といった内容も、分かりやすく防災手帳にか書いておくとよいでしょう。

### c) 周囲の支援・留意点

- ・それぞれの障がいに応じた特別な器具・装具を利用している人もいます。また、腎臓機能障がいでは定期的に人工透析への通院が必要です。
- ・自力での避難行動などが困難な方もいらっしゃいますが、外見から分かりにくい場合があります。
- ・本人から話を聞き、医療行為等の必要な方がいることを避難所の管理者や行政機関に伝え、適切な医療機関への連絡や移送のための気配りが大切です。
- ・オストメイトの人は、トイレの設備について配慮が必要です。



## 5. 精神障がい

### a) 災害時に困ること

- ・災害時には精神的な動揺が激しくなり、避難場所での集団生活に馴染むことが難しい場合があります。

### b) 本人の備え・対処

- ・日頃服用している薬などを、非常持ち出し品に入れましょう。
- ・服用している薬の品名・量・服用時間なども防災手帳に記しておきましょう。

### c) 周囲の支援・留意点

- ・ストレスに弱くて、疲れやすく、対人コミュニケーションが苦手な方がいます。
- ・適切な服薬、周囲の気遣いがあれば、症状を悪化させずに済みます。
- ・ご家族、その人をよく知っている人などから話を聞き、落ち着ける環境をつくりましょう。



ちてきしょう  
6. 知的障がい

さいがいじ こま  
a) 災害時に困ること

- ひなんせいかつ ほごしや みちか ひと どうはん  
・避難生活では、保護者など身近な人が同伴していな  
いと、日常生活が困難な場合があります。

- ひなんじよ きゆう せいかつ へんか なじ むずか  
・避難所など、急な生活の変化に馴染むことが難しく、  
じょうちよふあん お  
情緒不安などを起こすことがあります。

ほんにん そな たいしよ  
b) 本人の備え・対処

- じたく じゆうしよ れんらくさき か ぼうさいてちよう  
・自宅の住所や連絡先などを書いた防災手帳などを  
けいたい  
携帯しましょう。

- ひごろふくよう くすり ひじようも だ ひん  
・日頃服用している薬などがあれば、非常持ち出し品  
い  
に入れましょう。

- ひとり とき さいがい あ とき ま あ ぼしよ  
・一人の時に災害に遭った時のため、待ち合わせ場所  
れんらくほうほう き  
や連絡方法を決めておきましょう。

しゅうい しえん りゅういてん  
c) 周囲の支援・留意点

- むずか たんご ふくぎつ はなし ちゆうしやうてき がいねん りかい  
・難しい単語や、複雑な話、抽象的な概念は理解し  
にくいです。

- ことば つた  
・ゆっくりと、やさしい言葉で伝えます。

## 7. 発達障がい（主に自閉症の方について）

### a) 災害時に困ること

- 想像力が弱いため、災害の危険性や避難の必要性が分からないことがあります。
- 人と上手にかかわることが難しく、こだわりが強いなど、いつもと違う場所や行動パターンをとることが苦手です。そのため、避難所での集団生活にはなかなか馴染めません。

### b) 本人の備え・対処

- 自宅の住所や連絡先などを書いた防災手帳などを携帯しましょう。
- 日頃服用している薬や、出先でも安心できるお気に入りのグッズなどを、非常持ち出し袋に入れましょう。

### c) 周囲の支援・留意点

- 発達障がいとして、自閉症、注意欠陥・多動性障がい（AD / HD）、識字障がいなどの学習障がいなどが、発達障害者支援法に挙げられています。

- じへいしょう ひと よ ふ かえ  
 ・自閉症の人は、呼びかけられても振り返らなかつた  
 り、オウム返しだったり、言葉でコミュニケーション  
 ンをとるのが困難です。言葉を発しない人もいます。

あんびかくにん さい こえ へんじ ほん  
 ・安否確認の際には、声をかけて返事がなくても、本  
 どう け が かくにん ひつよう  
 当に怪我がないのか確認が必要です。

かいわ しゅうい じょうきょう せつめい じぶん はんだん  
 ・会話や周囲の状況を説明しても、自分で判断し  
 ひなん ほんにん ぼうさいてちょう も  
 避難することは困難です。本人が防災手帳を持って  
 いたら、そこに書かれている方(保護者など)に連絡  
 をして、迎えが来るまで保護をします。

きけん ばしょ いっしょ いどう ひつよう さい  
 ・危険な場所などから一緒に移動する必要がある際には、イラストカードなどを利用する方法があります。

みし ひとたち ひなんせいかつ きんちょう ふあん  
 ・見知らぬ人達との避難生活で、緊張し不安になる  
 きせい はつ と は はげ こうどう  
 と、奇声を発したり飛び跳ねたりなどの激しい行動  
 をとることがあります。そのため、「避難所に行く  
 まわ めいわく えんりよ ひなんじよ  
 と周りに迷惑をかけるから」と遠慮して、避難所に  
 い かぞく ほう おお ま じ き  
 行こうとしない家族の方が多くいます。間仕切りで  
 もう ほんにん す もの わた  
 スペースを設けたり、本人の好きな物を渡したりし  
 ひなんじよ お つ き くば  
 て、避難所でも落ち着けるように気を配りましょう。

つよ ひなんじよ とくてい た もの  
 ・こだわりが強いため、避難所でも特定の食べ物しか  
 ぐち ひと  
 口にできない人がいます。

# こじんぼうさいけいかく 個人防災計画を つくってみよう

もしものために、自分の防災計画をつくってみましよう。  
きにゆう 記入したものは、ぼうさいてちょう 防災手帳としてかつよう 活用できます。

## 1. 私わたしの基本情報きほんじょうほう

<small>ふりがな</small> <small>しめい</small> 氏名															
<small>じゅうしょ</small> 住所															
<small>でんわ</small> 電話	<small>ふあつくす</small> FAX														
<small>せいねんがっぴ</small> 生年月日	<small>ねん</small> 年	<small>がつ</small> 月	<small>にちう</small> 日 生まれ												
<small>けつえきがた</small> 血液型	<small>えー</small> A	<small>びー</small> B	<small>えーびー</small> AB	<small>おー</small> O	<small>あーるえいち</small> Rh	<small>ぶらす</small> +	<small>まいなす</small> -								
<small>しょう</small> 障 <small>しゆるい</small> がい <small>の</small> 種類															
<small>しんたいしょうがいしやてちょう</small> 身体障害者手帳								<small>( 1 2 )</small>	<small>しゆ</small> 種		<small>( 1 2 3 4 5 6 )</small>	<small>きゆう</small> 級			
<small>りょういくてちょう</small> 療育手帳								<small>( A · B )</small>							
<small>せいしんしょうがいしやてちょう</small> 精神障害者手帳								<small>( 1 2 3 )</small>		<small>きゆう</small> 級					
<small>かいごほけん</small> 介護保険								<small>ようしえん</small> 要支援		<small>( 1 2 )</small>		<small>ようかいご</small> 要介護		<small>( 1 2 3 4 5 )</small>	

## 2. 家族・知人等の連絡先

しめい 氏名	かんけい 関係	でんわ ふあつくす めーる 電話・FAX・メール

## 3. 家族等の集合場所

--

## 4. 避難所

機関名	でんわ ふあつくす めーる 電話・FAX・メール

5. たひなん かん その他避難に関すること

--

6. ぎょうせいかんけいれんらくさき 行政関係連絡先

<small>めいしょう</small> 名称	<small>でんわ ふあつくすとう</small> 電話・FAX等
<small>しやくしよ まちやくば</small> ____市役所・町役場 <small>だいひょう</small> (代表電話)	
<small>し まち か</small> ____市・町____課 <small>ぼうさいたんとうか</small> (防災担当課)	
<small>ふくしじむしょ</small> ____福祉事務所	
<small>ちいきほうかつしえん</small> ____地域包括支援センター	



ひごろかよ                      ぼしよ                      さぎょうしよ                      しょくば                      がっこう  
 7. 日頃通っている場所（作業所・職場・学校など）

めいしやう 名称	でんわ      ふあつくすとう 電話・FAX等

しよぞくだんたいとう      しやう                      しゃだんたい                      だんたいとう  
 8. 所属団体等（障がい者団体・ボランティア団体等）

めいしやう 名称	でんわ      ふあつくすとう 電話・FAX等

びやういん                      しんりやうじよ  
 9. かかりつけの病院・診療所

びやういん      しんりやうじよめい 病院・診療所名	たんとうい 担当医	でんわばんごう 電話番号

ほか ちいき かんれんいりようき かん じょうほうとう  
10. 他ほかの地域ちいきの関連医療機関かんれんいりようき かんの情 報 等じょうほうとう

---

--

ちりょうちゆう びょうき がっぺいしょう  
11. 治療中ちりょうちゆうの病 気びょうき・合 併 症がっぺいしょう

---

びょうめいとう 病 名 等	ちりょうないようとう 治 療 内 容 等	びこう 備 考

ふくようくすり しゅるい  
 12. 服用薬の種類

くすり なまえ 薬の名前	りょう 量	かたち いろ (色)	じかん 時間	さようとう 作用等
			あさ ひる ゆう 朝・昼・夕 ね まえ 寝る前	
			あさ ひる ゆう 朝・昼・夕 ね まえ 寝る前	
			あさ ひる ゆう 朝・昼・夕 ね まえ 寝る前	
			あさ ひる ゆう 朝・昼・夕 ね まえ 寝る前	
			あさ ひる ゆう 朝・昼・夕 ね まえ 寝る前	
ふくやくじょう ちゅうい 服薬上の注意：				

やつきよくめい 薬局名	でんわ ふあつくす 電話・FAXなど

13. 食事の目安 (栄養管理が必要な人向け)

	てきりょう 適量
カロリー	きろかろりー にち kcal / 日
えんぶん 塩分	g にち g / 日
たんぱく質 <sup>しつ</sup>	ぐらむ にち g / 日
カリウム	ぐらむ にち g / 日
水分	みりりつとる にち ml / 日

14. 補装具及び医療的ケアに必要な物品

ぶつびんめい 物品名	メーカー名 <sup>めい</sup>	サイズ

と あつか じぎょうしゃれんらくさき  
 15. 取り扱い事業者連絡先

じぎょうしゃめい 事業者名	と あつか しょうひんめい 取り扱い商品名	でんわ ふあつくすとう 電話・FAX等

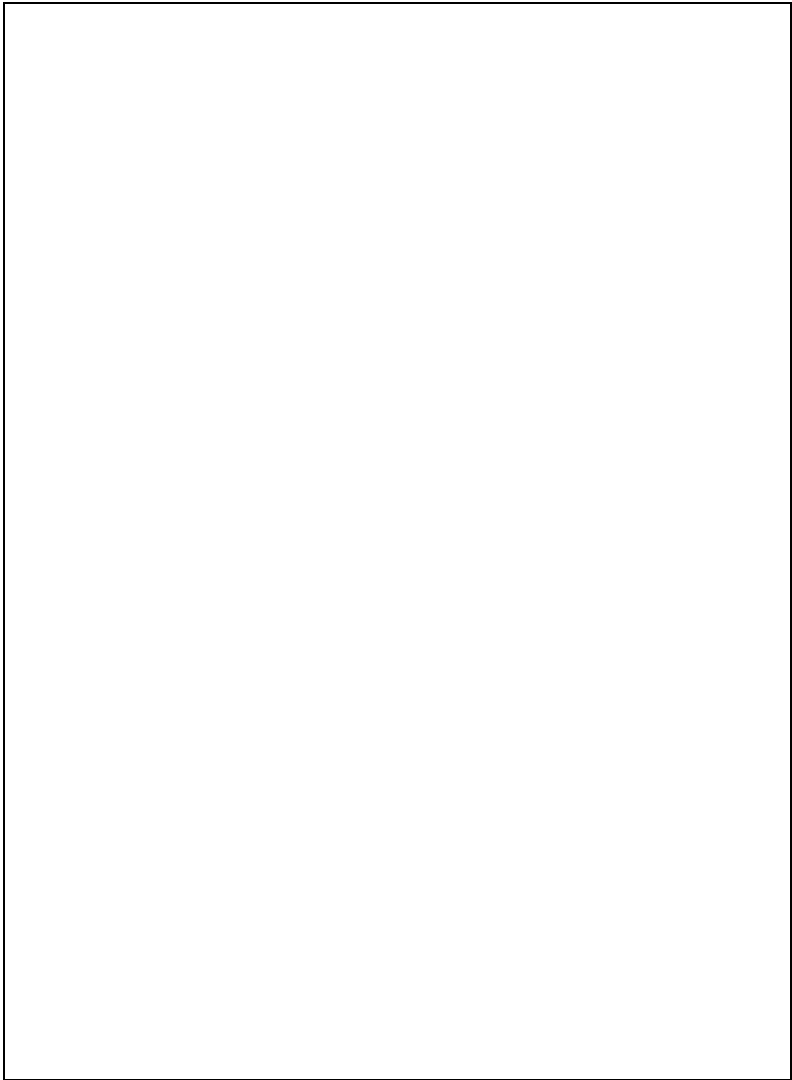
ちりょう かいご  
 16. 治療や介護のスケジュール

ていきてき ちりょう かいご ひつよう ひと  
 (定期的な治療や介護が必要な人のみ)

かいご かいじょう しえん うえ ちゅうい  
 17. 介護、介助等、支援する上で注意すべきこと

メモ

---



＜発行＞<sup>ほうじん</sup> NPO法人<sup>せいかつしえん かい</sup>しょうがい生活支援の会すみか



〒841-0066

<sup>さがけん と す し ぎ とくまち</sup>  
佐賀県鳥栖市儀徳町3262-1

<sup>でんわ ふあつくすばんごう</sup>  
電話& F A X 番号 0942-83-7638

メール info@npo-sumika.jp

ホームページ <http://www.npo-sumika.jp/>

<sup>さっし へいせい ねんどさがけん</sup>  
この冊子は、平成21年度佐賀県まちづくり  
<sup>かつどう しえんじょせいきん う さくせい</sup>  
活動支援助成金を受けて作成しています。